

内閣府共通 意見等登録システム
Registration system for opinion and comment etc.

記入内容の確認

1 内容入力

2 確認

3 完了

この内容でよろしければ、画面下のボタンを押してください。

氏名

※必須

超高速フォトニックネットワーク開発推進協議会

氏名ふりがな

※必須

ちょうこうそくフォトニックネットワークかいはつすいしんきょう

都道府県

※必須

東京都

住所（市町村以下）

新宿区新宿1-20-2 小池ビル6F（財）テレコム先端技術研究支援センター内

電話番号

03-3351-8155 例：000-000-0000

電子メールアドレス

※必須

PIF_Photonic@scat.or.jp

属性

※必須

その他

アクション・プラン案に関する
ご意見 テーマをお選びください
（複数回答可）

※必須

2. グリーン・イノベーション関係

アクション・プラン案に関する
ご意見（200文字程度を目安に
簡潔にまとめてください）

※必須

課題「エネルギー利用の省エネ化」における 方策⑥「情報家電・情報通信機器等の省エネ化」に関する「情報家電・情報通信機器等の省エネ化やネットワークシステムの最適化」の強力な推進を求める。2025年には約100に増大するであろうトラヒックに対して、ネットワークの消費電力を現状レベルに抑制（2025年に現在の1/100）するためには、ルーター／スイッチ等のハードウェアのオール光化とネットワークの効率的な利用技術（最適制御）が両輪であり、これらの研究開発が目標達成の死命を制する。

理由（200文字程度を目安に簡潔にまとめてください）

これまでの「（硬い）光の道路網」（静的フォトニックネットワーク）から、低消費電力のオール光スイッチング技術を導入した「（しなやかな）光の道路

※必須

網」（ダイナミック化）への変革を加速し、光回線の「片寄せ」やメトロアクセス網の統合化によって、不要なネットワーク機器や光送受信装置の削減・シャットダウンが可能となり、さらに膨大なトラフィックの突発的な出現や移動に対して、必要な所に必要な帯域（光波長）をオンデマンドで割り当てる技術の確立が必須であるため。

**科学・技術全般に関するご意見
（200文字程度を目安に簡潔に
まとめてください）**

光通信・ネットワークのオール光化技術において世界のトップランナーの地位を維持するため、総合科学技術会議が選定した23項目の革新的技術（H20.5）の1つに「高速大容量通信網技術・オール光通信処理技術」の研究開発に対する国の支援制度の強化を求める。グリーンICT技術の発展と国際競争力の強化を目指して、大学で創造される実学の知を通信業界が総がかりで具現化する体制を築かねばならない。具体的な方策として、過去にも実績を積んできたNICT委託研究における産学連携とNICT自主研究のバランスをとりイノベーションエンジンの両輪とすべきである。

理由（200文字程度を目安に簡潔にまとめてください）

電話網からインターネットへ、交換機からルーターへの変革に伴い、米国に席卷され日本が失った通信市場の失地回復の切り札は「オール光ルーター」などネットワークのオール光化技術である。NICTやNTT、大学で萌芽したオール光化技術のシーズを育て上げ、世界に先駆けて製品化するためには、革新的な材料・デバイスの探索から、装置、システム、ネットワークレベルまでの垂直統合の研究開発体制を築いて推進するのが最も効率的であるが、一企業、一研究所機関ではこれらに必要なリソースを到底賄い切れないため、産官学連携に対する国のファンディングによる支援が命綱である。

◀◀ 修正

▶▶ 以上の内容で送信する

[ページの先頭へ](#)